

05/17・国債購入海外勢27%に マイナス金利導入3カ月 < 1 >

- 全体残高に占める海外保有比率は昨年末時点で10.6%と初めて1割超える
- 預金利息目減り (737億円) 5大銀行グループ3月期利益合計は前期比5%減
- ・米財務省高官 円相場は「秩序的」 (16日) 介入さや当て続く

05/18・GDP実質1.7%増 (1-3月期年率 前期比0.4%増) うるう年でかさ上げ

- うるう年かさ上げ分を除くと実勢0%台 設備投資は3四半期ぶり減 (1.4%)
- 潜在成長率0.2%に低迷 課題は労働人口・設備投資・生産性向上 < 2 >

05/19・政府「ニッポン一億総活躍プラン」策定 働き方改革GDP600兆円へ

- 訪日外国人20年に4000万人 25年に出生率1.8、介護離職ゼロ
- ・岡田民進党代表 消費税率10%引き上げ「19年4月まで2年延期を」提案
- ・米利上げ「6月が適切」FOMC (4月米連邦公開市場委員会) 議事要旨公表 < 3 >
- 市場リスクは和らぐも英EU離脱が不安要素 円が大幅下落一時110円台に
- ・米国際貿易委員会報告書「TPP、米経済に好影響」 2032年GDP増0.15%寄与  
所得は0.23%、雇用は0.07%押し上げ 輸出は1.0%、輸入は1.1%増

05/20・台湾総統に蔡英文氏が就任 「中台関係を発展」 「TPP加入推進」

- 独立ひとまず封印も「一つの中国」は認めず 中国「未完成」と不満
- ・実質賃金、5年連続減 15年度0.1%マイナス < 4 >

05/21・G7主要7カ国財務相・中央銀行総裁会議開幕 (20日仙台)

- 英EU離脱「目先最大のリスク」認識一致 「中国など行き過ぎた悲観論は後退」
- ・日銀、国庫納付を大幅減 昨年度「出口」に備え引当金4500億円積む  
政府納付金2500億円以上減 異次元緩和のコストが国民に転嫁  
日銀保有国債349億円、3年間で2.8倍に 長期金利1%上昇で保有国債時価21兆円減少
- ・日米財務相会談で米「通貨安競争回避を」 G7では介入巡る対立封印
- ・訪日消費曲がり角? 百貨店、免税店売上高3年ぶり減

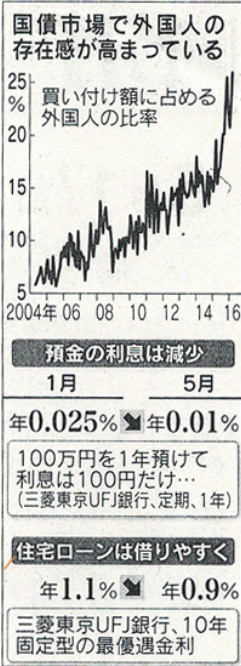
05/22・G7閉幕 財政出動、各国が判断 税逃れ対策を強化

- 議長国日本が訴える財政出動は賛同得られず イギリス、ドイツは慎重

05/23・アジア・オセアニア干ばつ猛威 農産物減、経済に逆風 < 5 >

- 「エルニーニョ現象」による猛暑 成長率下げ予測も
- ・日本貿易黒字3カ月連続 4月8235億円 円高、原油安で < 6 >  
前年同期比で輸入は23.3%減 輸出は10.1%減で7カ月連続の減少

<1>

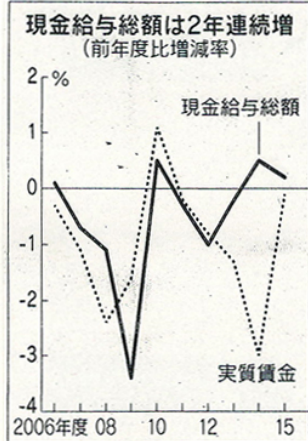


<3>

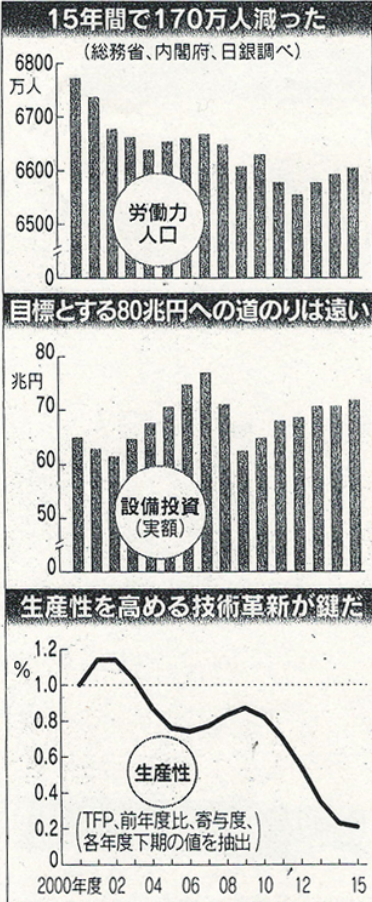
**FOMC議事要旨のポイント**

- データが景気回復を示し、雇用の改善が持続し、物価上昇が前進すれば、6月の利上げ適切に
- 海外経済のリスクは和らいだが、依然として景気先行きに下振れリスク
- 個人消費の低迷は一時的要因の可能性。堅調な雇用創出、実質所得の伸びを背景に回復を予測。
- 物価上昇は中期的に目標の2%に向かうと自信。一部委員は下振れリスクを懸念

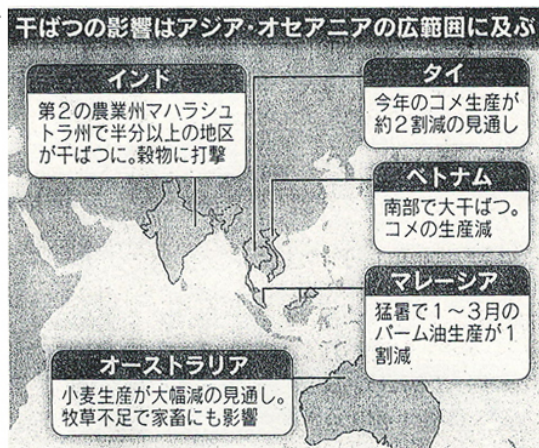
<4>



<2>



<5>



<6>

**4月の国・地域別の貿易収支**  
(1面参照)

(単位億円、カッコ内は前年同月比増減率、▲は減少または赤字、アジアには中国含む。差引額は四捨五入の関係で一致しない場合がある)

	輸出額	輸入額	差引額
総額	58,892 (▲10.1)	50,657 (▲23.3)	8,235 (—)
米国	12,005 (▲11.8)	5,857 (▲18.1)	6,148 (▲4.9)
E U	7,025 (9.9)	6,175 (▲8.4)	851 (—)
アジア	30,731 (▲11.1)	25,665 (▲19.2)	5,066 (80.7)
中国	10,352 (▲7.6)	13,299 (▲16.8)	▲2,946 (▲38.3)
中東	2,069 (▲21.9)	4,347 (▲46.6)	▲2,277 (▲58.5)